

2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月14日

上場会社名 古野電気株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6814 URL <https://www.furuno.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古野 幸男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 山宮 英紀 (TEL) 0798-63-1017
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績 (2020年3月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	60,418	△3.5	3,347	14.3	3,625	18.4	2,738	6.3
2020年2月期第3四半期	62,582	4.8	2,928	△24.5	3,062	△26.9	2,576	△22.6

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 2,353百万円(92.0%) 2020年2月期第3四半期 1,225百万円(△59.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	86.88	—
2020年2月期第3四半期	81.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	87,878	43,968	49.7	1,384.94
2020年2月期	76,133	42,244	55.1	1,330.49

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 43,658百万円 2020年2月期 41,925百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年2月期	—	10.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想 (2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	△1.3	3,500	45.1	4,000	48.0	3,500	71.5	111.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2021年1月14日)公表いたしました「2021年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年2月期3Q	31,894,554株	2020年2月期	31,894,554株
2021年2月期3Q	370,606株	2020年2月期	383,369株
2021年2月期3Q	31,517,661株	2020年2月期3Q	31,511,380株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、2021年1月14日（木）に当社ホームページへ掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、2030年までに目指す姿を経営ビジョン「FURUNO GLOBAL VISION “NAVI NEXT 2030”」として定め、事業ビジョン「安全安心・快適、人と環境に優しい社会・航海の実現」及び人財・企業風土ビジョン「VALUE through GLOBALIZATION and SPEED」を目指した経営を推進しております。その中で、当連結会計年度より、事業の体質改善による資源の捻出・体力強化をテーマとするフェーズ1（2021年2月期～2023年2月期）の中期経営計画をスタートさせました。

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、第1四半期連結会計期間における大幅な落ち込みからの持ち直しの動きが継続しました。ただし、各国・地域ごとのばらつきが鮮明化しており、国内感染がほぼ終息した中国においては、成長が加速し、感染拡大前のGDP水準に回復した一方で、欧州においては、感染拡大の加速により、一部の国・地域において再ロックダウンが実施され、回復ペースに翳りが見られました。米国においては、政府の経済対策及び活動制限緩和に伴う緩やかな回復が続きましたが、感染拡大が続いているほか、既往の各種経済対策の縮小もあり回復ペースは鈍化しました。わが国においても、Go Toキャンペーン等の政策面での後押しもあり、景気が回復しましたが、感染再拡大に伴い、先行きに不透明感が漂いました。

当社グループに関連する主な市場の状況について、船用事業の分野では、新型コロナウイルス感染症対策に伴う経済活動の停滞により案件の後ろ倒し等が発生していましたが、足元では遅れが解消されつつあります。産業用事業では、中国や東南アジアにおけるメディカルヘルスケア分野への投資が引き続き堅調でした。また、長距離移動自粛の緩和等に伴う、ETC車載器需要の回復基調が続きました。国内の教育ICT市場においては、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境等を整備する『GIGAスクール構想』の入札が本格化しました。

当社グループにおいては、第1四半期連結会計期間における売上高及び利益の大幅な落ち込みからの回復基調が継続しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は604億1千8百万円(前年同期比3.5%減)、売上総利益は230億4千3百万円(前年同期比2.7%増)となりました。営業利益は33億4千7百万円(前年同期比14.3%増)、経常利益は36億2千5百万円(前年同期比18.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億3千8百万円(前年同期比6.3%増)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間に適用した米ドル及びユーロの平均為替レートはそれぞれ108円及び121円であり、前年同期に比べ米ドルは約1.9%、ユーロは約1.3%の円高水準で推移しました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。セグメント利益は、営業利益ベースの数値であります。

①船用事業

船用事業の分野では、商船向け、漁業向けともに、第1四半期連結会計期間における落ち込みからの緩やかな回復基調が継続しました。この結果、船用事業の売上高は462億9千9百万円(前年同期比8.3%減)となりました。セグメント利益については、売上高減少の影響により7億7千万円(前年同期比59.0%減)となりました。

②産業用事業

産業用事業の分野では、ヘルスケア事業のうち生化学自動分析装置の販売が堅調でした。また、PNT事業のうちETC車載器の売上については、長距離移動自粛の緩和等に伴い、売上高の減少幅が縮小しました。この結果、産業用事業の売上高は78億3千3百万円(前年同期比10.5%減)となりました。セグメント利益については、売上高減少の影響により2億7千9百万円(前年同期比20.5%減)となりました。

③無線LAN・ハンディターミナル事業

無線LAN・ハンディターミナル事業の分野では、『GIGAスクール構想』に伴い、文教市場向け無線LANアクセスポイントの売上高が大幅に増加しました。この結果、無線LAN・ハンディターミナル事業の売上高は60億8千万円(前年同期比101.6%増)となりました。セグメント利益については、売上高増加の影響により22億4千8百万円(前年同期比268.2%増)となりました。

④その他

その他の売上高は2億5百万円(前年同期比37.1%減)、セグメント利益は2千4百万円(前年同期比70.7%減)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年1月14日の「2021年2月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,143	21,751
受取手形及び売掛金	15,992	16,554
電子記録債権	1,598	2,503
商品及び製品	15,408	15,190
仕掛品	3,576	3,646
原材料及び貯蔵品	6,082	5,863
その他	2,070	2,098
貸倒引当金	△395	△430
流動資産合計	56,477	67,177
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,526	3,818
機械装置及び運搬具（純額）	819	823
土地	3,582	3,576
その他（純額）	2,223	2,849
有形固定資産合計	10,152	11,067
無形固定資産		
のれん	481	810
その他	3,714	3,634
無形固定資産合計	4,195	4,444
投資その他の資産		
投資有価証券	2,591	2,613
退職給付に係る資産	922	1,020
その他	1,820	1,575
貸倒引当金	△26	△22
投資その他の資産合計	5,307	5,188
固定資産合計	19,655	20,700
資産合計	76,133	87,878

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,534	4,091
電子記録債務	6,493	6,518
短期借入金	206	6,002
1年内返済予定の長期借入金	3,000	1,300
未払法人税等	428	722
賞与引当金	1,657	1,213
製品保証引当金	1,108	1,033
その他	7,001	9,855
流動負債合計	22,429	30,737
固定負債		
長期借入金	6,700	8,648
退職給付に係る負債	2,872	2,867
その他	1,886	1,656
固定負債合計	11,459	13,172
負債合計	33,889	43,910
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,534	7,534
資本剰余金	10,074	10,080
利益剰余金	27,598	29,706
自己株式	△203	△196
株主資本合計	45,004	47,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	310	350
為替換算調整勘定	△2,687	△3,320
退職給付に係る調整累計額	△702	△495
その他の包括利益累計額合計	△3,079	△3,466
非支配株主持分	319	309
純資産合計	42,244	43,968
負債純資産合計	76,133	87,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	62,582	60,418
売上原価	40,148	37,375
売上総利益	22,434	23,043
販売費及び一般管理費	19,506	19,695
営業利益	2,928	3,347
営業外収益		
受取利息	29	28
受取配当金	47	52
持分法による投資利益	52	62
保険解約返戻金	38	36
補助金収入	29	156
受託研究収益	67	54
その他	192	117
営業外収益合計	457	508
営業外費用		
支払利息	74	66
為替差損	173	114
受託研究費用	20	26
その他	54	21
営業外費用合計	323	229
経常利益	3,062	3,625
特別利益		
固定資産売却益	40	9
投資有価証券売却益	6	0
特別利益合計	46	9
特別損失		
固定資産売却損	5	0
減損損失	21	17
その他	0	0
特別損失合計	26	18
税金等調整前四半期純利益	3,082	3,616
法人税、住民税及び事業税	762	902
法人税等調整額	△274	△26
法人税等合計	487	876
四半期純利益	2,594	2,740
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,576	2,738

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	2,594	2,740
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	39
繰延ヘッジ損益	5	—
為替換算調整勘定	△1,368	△589
退職給付に係る調整額	35	206
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	△43
その他の包括利益合計	△1,368	△386
四半期包括利益	1,225	2,353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,207	2,351
非支配株主に係る四半期包括利益	18	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループは各国の新型コロナウイルス感染症対策に伴う経済活動の停滞等により需要が縮小した影響を受けております。この状況により当連結会計年度中は一時的な需要低下があるものの、各地域での感染拡大収束、経済活動再開に伴い需要は徐々に回復していくと仮定しており、当該仮定を会計上の見積り（繰延税金資産の回収可能性、固定資産減損の兆候判定）に反映しております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

第1四半期連結会計期間の期首より、費目別に区分掲記しておりました「販売費及び一般管理費」について、連結損益計算書の一覧性および明瞭性を高めるため、「販売費及び一般管理費」として一括掲記する方法に変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結損益計算書の組替を行っております。